

ニュースクリップ & 映像教材

- 「2004年教育映像祭優秀映像教材選奨」募集開始
- 「ディスカバー図書館2004」開催
- 「New Education Expo2004」開催
- 「全国学びのまちづくりインターネット市民塾サミット」開催
- 「日本e-Learning大賞」募集開始

協会情報

■「2004年教育映像祭優秀映像教材選奨」募集開始

日本視聴覚教育協会主催による標記選奨は、「教育に利用される映画、ビデオ、スライド、コンピュータソフトウェア（CD-ROM）等、映像教材の制作と利用の向上進展を図る」ことを目的に、次の要領で開催される。

〈部門〉

- 教育映画（16ミリ版）
- 教育ビデオ（スライドを含む）
- 教育コンピュータソフトウェア

〈参加資格〉（各部門共通）

平成15年6月1日～平成16年5月31日までに完成し、一般に市販されるもの

〈表彰〉（各部門共通）

- 最優秀作品賞（文部科学大臣賞・日本視聴覚教育協会会長

賞）

- 優秀作品賞（日本視聴覚教育協会会長賞）

〈締切・問い合わせ先〉

平成16年6月2日（水）までに、下記へ申し込むこと。

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 視聴覚ビル

（財）日本視聴覚教育協会

TEL 03-3591-2186

FAX 03-3597-0564

<http://www.javea.or.jp>

研究会情報

■「ディスカバー図書館2004～図書館をもっと身近に暮らしのなかに～」開催

文部科学省、（社）日本図書館協会では、子どもの読書支援や子育て支援、高齢者支援、ビジネス情報の提供等の社会人支援など、各地域が抱えるさまざまな課題の解決に向けて機能する、地域の情報拠点としての図

書館がもつ可能性について探り、それを全国に発信し、新たな図書館活動の展開に資する趣旨により、標記事業を開催する。

〈開催日・会場〉

平成16年5月29日（土）

明治大学アカデミーコモン アカデミーホール

東京都千代田区神田駿河台1-1

〈参加対象〉

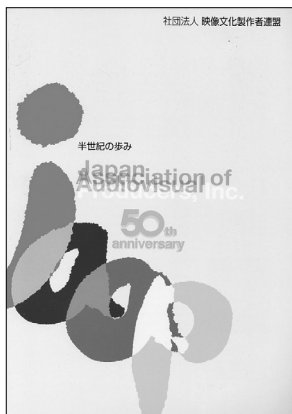
図書館、出版、自治体行政、図書館友の会、図書館ボランティア、一般 700名程度

〈内容〉

- 基調講演「知的立国を図書館から」鳥取県知事 片山善博氏
- 事例報告「進化するニューヨーク公共図書館」ジャーナリスト 菅谷明子氏

○パネルディスカッション：「地域の情報拠点としての図書館」／児玉清氏（俳優）、本上まなみ氏（女優）、糸賀雅児氏（慶応義塾大学教授） 他

ブックレビュー



「半世紀の歩み 映像文化製作者連盟50年誌」

50年誌編纂委員会 (社)映像文化製作者連盟 2004年1月刊 A4判 124頁 1,050円

この冊子は、社団法人映像文化製作者連盟（映文連）設立50周年を記念して編纂されたもので、「短編映画100選」と、「作品に見る映文連の半世紀」、「映画人群像」、「輝ける未来へ」、「資料」の4部構成になっている。

特に、「短編映画100選」は、それぞれの時代と社会の動きを反映した資料的価値の高い作品が、写真とデータで紹介されている。

ほぼ同時代を、一教師として視聴覚教育に関わってきた私が見た作品は、恥ずかしいかぎりだが、半分に満たない。

しかし、その中に、私を視聴覚教育に引き込んだ「ひとりの母の記録」を見つけた時、胸が熱くなった。長く多く語る作品の多い今日、研ぎ澄まされた短い映像で、見るものを深く考え

させ感動させてくれた。

半世紀にわたり、映画づくりを支えてきたのは、映画人としての信念と情熱であることを第2部の「映画人の群像」に取り上げられている人々のエピソードが解き明かしている。

また、関係者が語る短編映画の先輩たちや、活躍中の映画人の哲学ともいえる映画づくり観や理念は、映画にとって厳しい状況の今日でも人の心を捉える。

若い視聴覚主任たちにぜひ読んでもらいたいと思う。フィルムやテープという媒体は変わっても、映像は今までとは違った形で大きな役割を担うだろう。

第3部「輝ける未来へ」で書かれているように、未来型の映像技術によるプロならではの映像づくりに、映文連の新たな半世紀が始まると感じた。(松田 實)

〈申込方法〉

FAX、Eメール、はがきのいずれかで、郵便番号、住所、氏名、電話番号、FAX番号を明記の上、下記あてに申込む。

(社)日本図書館協会 イベント係 〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

FAX03-3523-3771

E-mail: sinkou@jla.or.jp

〈問い合わせ先〉TEL 03-3523-0815

■「New Education Expo 2004」開催

New Education Expo2004実行委員会主催による、標記セミナーが、東京と大阪で開催される。今回は、「新学習指導要領に対応した教材整備」、「教育の情報化」、「環境対応施設設備」、「あたらしい学校づくり」「これからの授業運用実践」等をテーマに開催される。

〈開催場所・開催日〉

○東京会場：平成16年5月27日(木)～29日(土)／東京ファッションタウンビル(東京都江東区有明3-1)

○大阪会場：平成15年6月2日(水)～3日(木)／大阪マーチャングライズ・マート(大阪府中央区大手前1-7-31)

〈基調講演〉

○東京会場：遠山敦子氏(前文部科学大臣、文部科学省顧問)

○大阪会場：河合隼雄氏(文化庁長官)

〈詳細ならびに申し込み〉

詳細は、順次決定のつど、下記のホームページにて公開。参加申し込みもホームページより。

○内田教育ホームページ

<http://school.uchida.co.jp>

〈問い合わせ先〉

New Education Expo事務局

(株)内田洋行 教育システム事業部 営業企画課内

TEL 03-5634-6397

FAX 03-5634-4088

■「全国学びのまちづくりインターネット市民塾サミット—新しいまちづくりに取組む先進事例に学ぶ—」開催

富山県教育委員会、富山県生涯学習カレッジ、富山インターネット市民塾推進協議会の主催により標記サミットが開催される。

〈開催日〉

平成16年5月15日(土)

〈開催場所〉

ウイング・ウイング高岡(富山県高岡市下関町)

〈内容〉

○研修会：インターネット市民塾紹介/eラーニング事業の企画・運営・設立の進め方/コンテンツ制作方法 他

○基調講演：「情報化が拓く生涯学習の新たな展開」/森本浩一氏(文部科学省生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当))

資料紹介



**「マルチメディア入門教育
テキストMacromedia
Flash MX2004 I 英語
学習ムービーを作成する」**

G.Mille, D.Underwood著 マクロメディア株式会社 2003年12月刊 問い合わせ：マクロメディア株式会社 TEL03-5563-1980

本書は、学習者の要請に応じて音声や動画を提示できる「対話型ムービー」を簡単に作成できるFlashというアプリケーションを教師が使って魅力あるマルチメディア教材を作成するノウハウを平易に解説した入門書である。英語を生きた言葉として学ぶには、文字だけでなく、ネイティブ・スピーカーの発音や、その英語が使用される場面を見ながら学習すると、記憶に残りやすく学習が定着しやすい。したがって、音声と動画を扱えるFlashを使った教材は、生きた英語を身につける学習に有用である。本書では、授業に役立つ教材を実際に作成していくことを通して、Flashを使った教材作成法が身につくように構成されている。具体的には、英単語に対応した文字（英語と日本語）、

音声、動画を提示できる学習カード作成や単語クイズの作成が課題になっている。作成手順としては、計画の立案、文字の挿入、ボタンの作成、音声の組込み、クイズの作成というようにstep by stepで無理なく学べるように工夫されている。テキストはカラー構成で、パソコンの画面写真も豊富に掲載されているので、慣れない教員でも十分理解できるようになっている。生徒がムービー教材を自作して発表するという創造的な授業にも活用できるだろう。2005年には全国の公立学校の普通教室にインターネット接続されたパソコンが2台と提示装置が導入される。本書は、生徒の学習意欲を高める教材作成や魅力ある授業展開に貢献できる可能性をもっているといえよう。(山内 豊)

○パネルディスカッション：「まちづくりに効く市民塾」／山西潤一氏（富山大学教育学部長）、近藤真司氏（全日本社会教育連合会「社会教育」編集長）、柵富雄氏（富山インターネット市民塾推進協議会事務局長）他

〈参加申し込み〉

下記の問い合わせ先までメールにて申し込む。

〈問い合わせ先〉

メールにて問い合わせを行う。
e-mail:info@shiminjuku.com/

コンクール情報

■「日本e-Learning大賞」募集開始

e-Learning WORLD 2004実行委員会ならびに日本工業新聞社では、「e-Learning WORLD2004—Expo&Forum—」の開催にあわせ、優れたe-Learningのソリューションを

く紹介し、e-Learningの可能性を啓蒙するため、企業においてはe-Learningを用いたコストダウン、生産性の向上、業務改革、また、学校、個人においては新しい学習の可能性を予感させるベンダー、ユーザーを表彰する標記大賞を創設し、このほど募集を開始した。

〈募集対象〉

e-Learningの普及、促進に向け、優れたコンテンツ、サービスなどのソリューション

〈表彰〉

○総務大臣賞：ブロードバンド時代の優良なコンテンツ・サービスとしてのe-Learningという視点に立ち、「e-Japan構想」を推進する上で貢献していると思われる自治体・団体・企業に贈られる。

○優秀賞（5点）：「個人のスキルアップ」、「生涯学習教育」、「学校教育」などの観点から、

e-Learningを用いて人間教育に役立つソリューションを実践している機関、団体に贈られる。/e-Learningの手法を用いて新たな事業の確立、企業、団体での生産性向上、新ビジネス構築などで優れた実績をあげるなど豊かな経済社会の実現に貢献する優れたユーザーに贈られる。他

〈応募方法〉

平成16年5月28日（金）までに応募用紙に必要事項を記入し下記の問い合わせ先まで郵送するか、またはウェブサイトから申し込む。

<http://www.elw.jp>

〈問い合わせ先〉

日本イーラーニング大賞事務局
〒100-8125 東京都千代田区
大手町1-7-2 日本工業新聞社
事業局内

TEL 03-3273-6184

FAX 03-3241-4999